

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 173-8605
住 所 東京都板橋区加賀二丁目11番1号
氏 名 学校法人 帝京大学
理事長
冲永 佳史
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名又は名称	学校法人 帝京大学		
主たる事務所又は事業所の所在地	川崎市 高津区二子 5 - 1 - 1		
該当する事業者の要件及び温室効果ガスの排出を行う産業、運輸その他の部門	☒	規則第 4 条第 1 号該当事業者	業務 部門
	☐	規則第 4 条第 2 号該当事業者	部門
	☐	規則第 4 条第 3 号該当事業者	部門
	☐	規則第 4 条第 4 号該当事業者	部門
主たる事業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業内容	一般病院		
事業者の規模	☒	原油換算エネルギー使用量	2,799 kL
	☐	自動車の台数	台
	☐	エネルギー起源の二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX 番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2024 年度 ～ 2026 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

省エネルギー等の地球温暖化対策に積極的に取り組み、技術的かつ経済的に可能な範囲内で次にあげる諸目標及び措置の実現に努めるものとする。

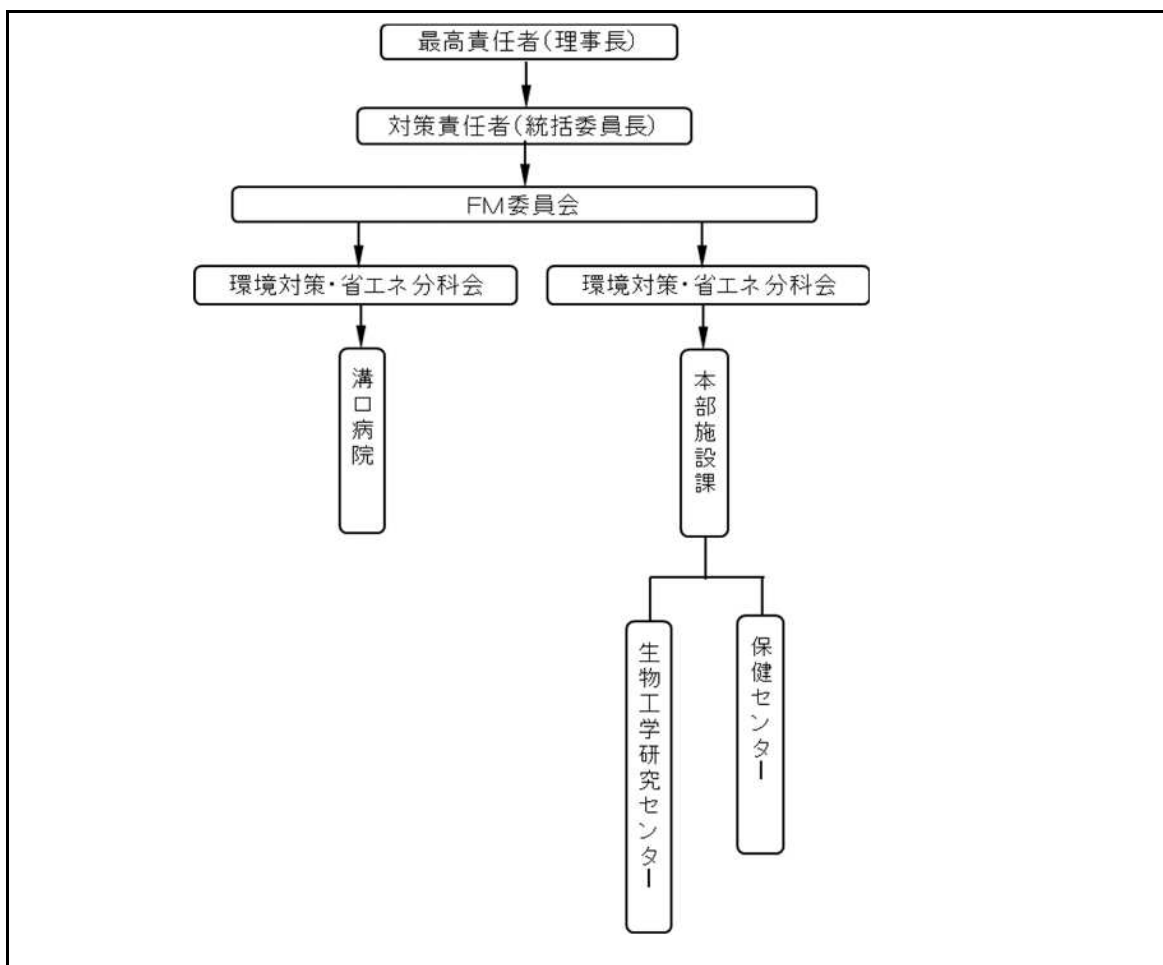
1. エネルギー消費設備等に関する事項(下記設備の新設・更新時には高効率機器導入を検討)
①燃焼設備②熱利用設備③コージェネレーション設備④電気使用設備⑤空気調和設備⑥照明設備⑦給湯設備等
2. 電気および熱エネルギーの効率的利用のための検討(啓蒙活動を含む)
3. 太陽光発電システムの導入検討

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

監視データを毎月チェックして、エネルギー消費量削減のための適切な運用方法を検討・策定する。

エネルギー消費量及び設備の運用状況について本部（エネルギー管理企画推進者）と共有を図り、運用改善・設備投資等の検討を連携して実施する。
実施後のデータをチェックして、改善後の運用状況を確認する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準年度	2023	年度	2023	年度	2023	年度
目標年度	2026	年度	2026	年度	2026	年度
基準排出量 (t-CO_2)	(基) 5,280 (調) 4,934		(基) 0 (調)		(基) 0 (調) 0	
目標排出量 (t-CO_2)	(基) 5,227 (調) 4,885		(基) (調)		(基) (調)	
削減量 (t-CO_2)	(基) 53 (調) 49		(基) (調)		(基) (調)	
削減率	(基) 1.0 % (調) 1.0 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(2024年度)	排出量 (t-CO_2)	(基) 0 (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO_2)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	(2025年度)	排出量 (t-CO_2)	(基) 0 (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO_2)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	(2026年度)	排出量 (t-CO_2)	(基) 0 (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO_2)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

	1、2号該当者		3号該当者	4号該当者
比 較 年 度	2017	年度	年度	年度
比 較 年 度 排 出 量 (t-CO ₂)	(基) 5,819 (調) 5,792	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)
目 標 排 出 量 (t-CO ₂)	(基) 5,227 (調) 4,885	(基) (調)	0 0	(基) (調) 0 0
削 減 率 (目 標)	(基) 10.2 % (調) 15.7 %	(基) (調)	% %	(基) (調) % %
削 減 率 (第 1 年 度)	(基) % (調) %	(基) (調)	% %	(基) (調) % %
削 減 率 (第 2 年 度)	(基) % (調) %	(基) (調)	% %	(基) (調) % %
削 減 率 (第 3 年 度)	(基) % (調) %	(基) (調)	% %	(基) (調) % %

(3) 目標設定に関する説明

溝口病院は2017年度に新病棟が竣工し今年で8年目であるため、エアコン設備の一部更新を検討している。また、職員共用部のブラインド管理やエアコン設定温度の緩和などの改善に関しても順次実施することを検討している。また、定量的な排出量算定は困難であることと、近年夏期の外気温が高い傾向にあることも鑑みて、計画期間の削減率1%を目標として設定した。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	・定例のFM委員会を得て設置するとともに、責任者の明確化、マニュアル類の整備を図る。 ・主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理の徹底を図る ・BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細把握を図る ・中間期のチラー停止 ・職員共用部のエアコン運転スケジュール短縮 ・職員共用部の照明間引を実施 ・空調設備の更新検討 ・入院棟のエレベーターの運用見直し		
第1年度			
第2年度			
第3年度			
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)			
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)			

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値 (1、2号該当者)

原 単 位 等 の 活 動 量		建物延床面積	原 単 位 等 の 単 位			kl/m2
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度	
エ ネ ル ギ ー 消 費 原 単 位 等 の 値	0.06504				0.06439	
活 動 量 の 値	43,037.0				43,037.0	
エ ネ ル ギ ー 消 費 原 単 位 等 の 削 減 率		%	%	%	1.0 %	

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (4号該当者)

原 単 位 等 の 活 動 量			原 単 位 等 の 単 位			
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度	
排 出 量 原 単 位 等 の 値						
活 動 量 の 値						
排 出 量 原 単 位 等 の 削 減 率		%	%	%	%	

(3) 目標設定に関する説明

溝口病院は2017年度に新病棟が竣工し今年で8年目であるため、エアコン設備の一部更新を検討している。また、職員共用部のブラインド管理やエアコン設定温度の緩和などの改善に関しても順次実施することを検討している。また、定量的な排出量算定は困難であることと、近年夏期の外気温が高い傾向にあることも鑑みて、計画期間の削減率1%を目標として設定した。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2 号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
原油換算エネルギー使用量	2,799 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	5,280 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	3			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
帝京大学医学部附属 溝口病院	神奈川県川崎市高津区 二子 5-1-1	4,951			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計画	・ 定例の FM 委員会を得て設置するとともに、責任者の明確化、マニュアル類の整備を図る。 ・ 主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理の徹底を図る ・ BEMS 装置等を活用し、エネルギーデータの詳細把握を図る ・ 中間期のチラー停止 ・ 職員共用部のエアコン運転スケジュール短縮 ・ 職員共用部の照明間引を実施 ・ 空調設備の更新検討 ・ 入院棟のエレベーターの運用見直し
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項 (1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入 (基準年度)

種 類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入 (保有) 年度
太 陽 光				未定
風 力				未定
バ イ オ マ ス (燃料 :)				未定
そ の 他 ()				
そ の 他 ()				
合 計				

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電力エネルギー 消費 量	8,488,517 kWh	kWh	kWh	kWh	8,403,632 kWh
再 エ ネ 電 源 等	267,959 kWh	kWh	kWh	kWh	265,500 kWh
再 エ ネ 電 源 比 率	3.16 %	%	%	%	3.16 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
排 出 係 数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.368				0.365

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電 化 の 割 合	67.57 %	%	%	%	67.57 %

(4) 目標設定に関する説明

太陽光、風力、バイオマス等において導入検討を実施する。具体的には、設置場所や発電電力量、設置箇所の耐久荷重や騒音等諸条件を院内で検討し、実施可能かを判断する。検討の結果、実施可能であった場合は基準年度から1%削減を目標とする。
--

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	太陽光、風力、バイオマス等において導入検討を実施する。具体的には、設置場所や発電電力量、設置箇所の耐久荷重や騒音等諸条件を院内で検討し、実施可能かを判断する。	
第 1 年度		
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	脱炭素化以外の計画有			
内容	学生の教育環境と医療サービスの品質を低下させることのない省エネ達成を目指す。			
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3 から 7 までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

目標年度までの計画	なし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	